

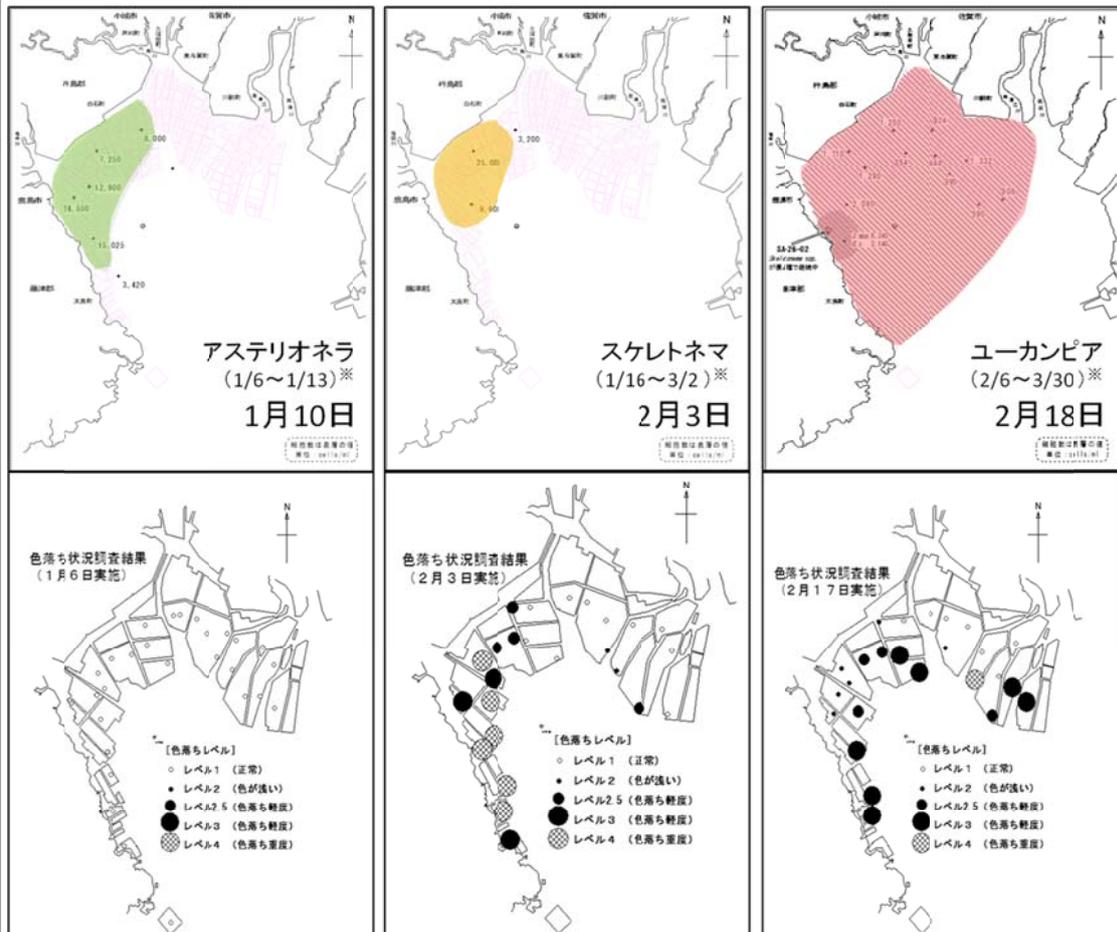
平成 25 年度研究成果情報

課題名：冷凍網期の赤潮発生状況とノリの色落ち

[背景・ねらい]

有明海佐賀県海域において、珪藻類ユーカンピアによる赤潮は平成23年度から3年連続で、アステリオネラによる赤潮は平成19年度から7年連続で発生しており、ノリの色落ち原因珪藻として問題視されている。各種珪藻赤潮の発生海域は異なるため、ノリの色落ち被害の範囲も原因種によって異なる事が考えられた。そこで、各種赤潮の着色範囲とそれに伴うノリの色落ち状況を比較して整理することとした。

[成果]



※：赤潮発生期間

図 各珪藻赤潮の着色域と色落ちの程度(一例)

- 平成25年度においてはアステリオネラとユーカンピアに加え、スケルトネマによる合計3件の珪藻類による赤潮が発生し、色落ち被害をもたらした。
- アステリオネラ赤潮の発生期間は短く、アステリオネラ赤潮期間中における色落ち被害は確認されなかった。
- スケルトネマ赤潮期間中において色落ちが確認され、被害は発生海域(西部地区)に集中していた。

- ・ ユーカンピア赤潮は、西部地区に集中して発生したアステリオネラ赤潮とスケレトネマ赤潮とは異なり全域に拡大し、河口域を除く広域で色落ち被害を引き起こした。

[課題・問題点]

- ・ 単年のデータのための整理であり、過去の事例を含めた赤潮の着色域と色落ち状況をまとめる必要がある。

[今後の対応]

- ・ ユーカンピアでは3年連続で、アステリオネラでは7年連続で過去の事例が得られているので、発生年ごとにデータをまとめ、原因珪藻種ごとに同様の結果が得られるかどうか確認する。

[その他]

研究期間：平成 25 年度

研究担当者：ノリ研究担当 中村 愛子